



## 鳥取市教育センターだより

第2号 平成28年6月30日発行

〒680-0053  
鳥取市寺町150番地  
TEL 0857-36-6060  
FAX 0857-26-3878  
E-mail  
[kyo-center@city.tottori.lg.jp](mailto:kyo-center@city.tottori.lg.jp)

### 「伝える」から「伝わる」へ

所長 竹内 通恵

平成28年度も3か月たちました。教育センター主催の各種研修やひらがな音読支援等の事業については、各学校の教育活動に生かすため、全教職員で内容の伝達・共有をしていただいたことと思います。ご協力を改めて感謝申し上げます。

さて、教育センターでは、本年度もこれまでに138回の教育相談を実施してきました。その中に、学校は対応について「伝えた」けれど、保護者にはきちんと「伝わっていない」事例が複数見られました。忙しい中で、顔を合わせないまま電話で話をしたり、短時間で要件のみの伝達に終わったりすることなどが原因と考えられます。両方とも頑張っているのにすれ違ってしまうのはとても残念なことです。

わかりやすく「伝える」努力はもちろん必要ですが、大切なのは「伝わる」ことです。相手が本当に納得できているか、聞きたい情報が得られているか、不安が解消され前向きな気持ちになっているかなど、言葉だけでなく表情などで確認しながら話をすることが信頼関係をつくり、教育や子育てにつながっていくのではないのでしょうか。

子どもたちと向き合う時も、「伝わる」の視点を意識し、前期後半の教育活動に取り組みたいものです。



## お知らせ

詳細については、別途文書を送付します。

### ◎「ことばの発達」に関する講演会（8月20日 9:30～ さざんか会館）

講師：国立成育医療研究センターこころの診療部部長 小枝 達也 氏

園・小・中学校の教職員、保護者を対象に、みんなで支えることばの育ちについて考えます。

### ◎第2回鳥取市小・中学校初任者研修会（7月29日 13:15～ 鳥取市教育センター）

指導案作成を通して、児童生徒の心を揺さぶる道徳教育について学びます。

### ◎第1回鳥取市小・中学校講師研修会

（8月19日 14:00～ 国府町コミュニティーセンター）

事例研究を通して、「児童生徒理解」において心がけたいことについて学びます。

# 特別支援教育係

# 「チーム学校」で子どもの支援を！

## 特別支援教育に関する研修会を実施しました



支援会議で個別の指導計画の活用を！  
(5/12 特別支援教育主任研修会)



コミュニケーションは表情が大事！  
(5/26 生徒指導専任相談員研修会)



困った子でなく、困っている子です！  
(6/2 特別支援教育支援員研修会)

### 今後の推進のポイント！

- 一人で抱えず、学校体制をつくってチームで対応する（発達や支援の共通理解と共通実践を）
- 「個別の指導計画」の評価・見直しをできるだけ保護者と共に行う（ゴールイメージは具体的に）
- 課題の指摘ではなく、行動の背景や原因を共に考える（できたこと・努力したことを認めて）



## ひらがな音読支援事業！

5月31日（火）に「T式ひらがな音読支援実施説明会」を行いました。各学校には、1年生の「第1回ひらがな音読確認」をお世話になりました。今後は、タブレットを活用した音読支援を実施していきます。支援が可能なご家庭には、夏休みの練習の紹介もお願いします。今回の音読確認の結果、20文字以下の児童がいる15校には、教育センター職員が学校訪問を行い、聞き取りをさせていただきます。学びの基礎となる読みの力を共に育てましょう。

実際に時間を計り、音読確認の練習をしました。



## 「にじのきょうしつ」スタート！

教育センターでは、小学校入学に対する年長児の不安を少しでも減らすために、小学校での必要なスキルやルールを学ぶ機会をつくり、家庭と連携しながら入学に向けての自信を育てています。5月下旬より、月2回のペースで楽しく学んでいます。



学校って  
おもしろそう  
だな。

# 研修企画係

## 児童生徒の自信と誇りを授業の力で

6月7日（火）に各学校の学力向上担当者を対象として研修会を開催しました。学力向上の3要素を柱に、各学校の取り組み計画について、中学校区グループ等で熱心に意見交換しました。第2回は12月12日（月）の予定です。



### 《参加者の感想》

- ・中学校区全体で共通実践すべきことがより明確になった。
- ・学力向上のために全職員で質の向上をめざしていきたいと強く思った。

### 推進のポイント

- 学力向上の3要素（授業改善、家庭学習、学びを支える土台）の視点で取り組みを整理する
- めあて・学び合い・ふりかえりが本当に児童生徒のものになっているか授業を見直す
- 全国学力・学習状況調査のB問題（1問でOK）を全員で解き、授業改善の視点を明確にする

## 学力向上研修会

授業をふりかえってみましょう！

学力向上は児童生徒の実態把握から

### ①児童生徒は、何をどう学ぶか、めあてをつかんでいますか

- (ポイント例)
- つけたい力を明確に（実生活とつなげながら）
  - 学ぶ（学び合う）意欲が高まる言葉かけ、しかけ

### ②児童生徒は、自ら考え学んで(学び合っ)ていますか

- (ポイント例)
- ねらいにでらした、主活動（話し合い）の目的・視点の設定
  - 説明重視からゆきぶり・評価重視へ

### ③児童生徒は、ふりかえりで、学んだことを実感していますか

- (ポイント例)
- めあてとふりかえりで、1時間を確かな学びに
  - 授業に生きる家庭学習

評価は児童生徒の姿で



鳥取市教育キャラクター

## きなんせ！English Worldで笑顔いっぱい



今年度も外国語指導助手（ALT）等を活用し、English Worldを年4回、学校に出かけて行うキャラバンを15校で実施します。言葉の大切さや豊かさ、言葉で人とかがわることの楽しさや難しさを感じながら、視野を広げ、積極的に人とつながる意欲が高まる機会になることを願っています。



6月4日（土）、小学校5・6年生30名がALT 16名と3つのアクティビティを行いながら英語に親しむことができました。「はじめは分からなかったけど、ALTの先生がやさしく教えてくれた」など、参加児童は、楽しい時間を過ごしました。

### キャラバン



英語で紹介！私の好きなもの  
(5/25 湖南学園)



誕生日ビンゴで会話が弾みました  
(6/15 青谷小学校)



学校全体が1日「英語村」に  
(6/15 東郷小学校)